

国際ロータリー第 2530 地区
2026-27 年度地区運営管理委員会
委員会方針

委員会構成

委員長	芳賀 裕（福島中央 RC）	副委員長	平井 義郎（福島中央 RC）
委員	右近 八郎（福島 RC）	同	福島 佳之（郡山 RC）
同	伊藤 公明（浪江 RC）	同	堀田 一彦（白河西 RC）

1) 委員会方針

地区の運営管理については、ガバナーが RI の役員として最終責任を負っているが、当地区ではこれまでも補助的機関として地区内に運営管理に関わる事項を検討する委員会が設置されている。

金田昇ガバナー年度では、地区事務所設置後 3 年を経過したことから、この 3 年間を振り返り、今後に向けクラブ（会員）、地区（役員）が連携した持続可能な地区事務所のあり方を検討する。また、地区の最大事業である地区大会のあり方についても運営管理の面から検討をしたい。

2) 事業計画

1. 地区事務所が行う事務とそれ以外の事務の分類整理

クラブ会員、地区役員等へ「各自が行うべきことは自己責任で行う」という基本的考え方への理解と協力を求めていく。（皆が、各事業出欠届の締切期日厳守等の約束を守っているか。安易に地区事務所へ問合せたり、事務処理を一任したり等、地区事務所へ頼ることになっていないか。）

2. 運営管理面から地区大会のあり方を検討

1999-2000 作山博之ガバナー年度より全会員から賛助金一人 3,000 円と参加者登録料一人 1 万円を収入とする運営が続いている。昨今の会員減少傾向と開催分区会員数の偏りから昨年度収支バランスの悪化が顕在化したこともあり、全員登録制の復活、大会内容、運営方法、資材等継続利用の可能性等々、見直す時期にある。